

平成30年度 上伊那圏地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第3回 就業支援 部会	参加者数	49人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成30年10月24日(水) 13:30 ~ 15:30				
主 テ マ	1 定着支援シンポジウム 2 連絡事項・その他					
主 な 意 見 な ど	1 について(司会・進行 宮内就業支援副部長) ○障がい者雇用をしている圏域内の3企業・1行政機関より、シンポジストをお招きし、障がい者雇用の実際について、接し方や工夫点、課題等について、分かりやすくお話いただいた。概要は、次のとおり。 (なお、この部会には県内各圏域の就業・生活支援センター主任就業支援ワーカーにもご参加いただいた) (1) 窓口サービス業における雇用(日本郵便株式会社 信越支社 損益・人事担当調整役 柳沢 行基 氏より) ・障がい者雇用状況は、信越支社管内で、郵便事業2.62%、金融窓口事業2.23%。(H30.8月現在) ・社員Aさん(障がい者雇用4年目、郵便局での窓口サービス・営業活動、フルタイム勤務)の雇用に至った経緯や業務内容、1日のスケジュール等の紹介(詳細略)。 ・工夫点:定期的な職場訪問、郵便局長等と連携した勤務状況把握(情報収集)、きりりあとの連携。 ・課題:定期的な業務手続き変更への対応、巡回勤務する郵便局の職場環境平準化、職場環境変化への対応、達成感・自信の与え方等。 (2) 製造業における雇用(ナパック株式会社 管理部シニアアドバイザー 中山 万宝 氏より) ・従業員149名中、4名の障がい者を雇用。 ・労働時間や残業の有無、休暇、社内行事・研修への参加、業務の責任の度合いは、各人で異なる。 ・4名でローテーションを組みながら作業している(作業の様子動画紹介あり)。 ・配慮として、新卒採用者(障がい者雇用)への社員教育の工夫、週報(1週間の業務日誌)で、状況把握、きりりあとの連携、個々に合わせた面談、苦手な部分を業務から外す、社員の障がい理解研修等を実施。 ・関係機関との連携、時間をかけ丁寧に会社とのマッチングを考慮した人材を採用することが大切と考える。 (3) 行政機関における雇用(伊那保健福祉事務所 総務課 課長補佐 北原 仁 氏より) ・知的・精神障がい者チャレンジ雇用事業で、精神1級障がい者を、書類、面接、職場体験で選考、雇用。 ・雇用時は、面接シートから特性を把握、日誌と週報で情報共有を図り、半年間は毎日打合せを実施した。 ・失敗を恐れない、ミスしても落ち込まない、同じミスを繰り返さない、こまめにメモをとる、周りの動きを意識することを常々伝えてきた。 ・ネガティブ思考にならないような声かけ、注意は何がいけないか明確に伝える、本人の話の傾聴、具体的な言葉・指示、周囲の音が気になる→自分に有益な情報探しの機会とリフレーミングする等、工夫した。 (4) 小売販売業における雇用(株式会社 ニシザワ 総務部 人事課 中山 公良 氏より) ・従業員数約1500名、うち、障がい者雇用は21名。 ・1日の業務内容の一例を正社員の場合と比較しながらの紹介(詳細略)。 ・工夫点:事前に就業体験を行う(受入側にも有効)、配属後、理解のある従業員にも支えてもらう、きりりあの定期訪問活用、障がい者職業生活相談員有資格者6名による対応、障がい者雇用人件費は本部負担等。 ・課題:常時障がい者の面倒を見られる従業員の配置が困難、業務繁閑・業務内容の変更への対応が難、商品陳列中のお客様対応が難しい、慣れてくると高いレベルを求めてしまう、正社員登用が困難等。 (5) 圏域の障がい者雇用の状況について(ハローワーク伊那 上席職業指導官 林 陽一 氏より) ・圏域内の身体障がい者のハローワーク利用は減少傾向。H30.3月末で有効求職者は約100名。知的障がい者は約70名。精神障がい者は約200名強である。精神の方はクローズでの就労希望者も多いのが現状。 ・障がい者専用求人企業の顔ぶれや求人内容は、概ね変化なし。 ・H30.11.6に障がい者向けの合同面接会を開催する。積極的に参加・活用してほしい。 ・H30.4.1より法定雇用率に精神障がいの方もカウントされることとなった。精神・発達障害者しごとサポーター養成講座(出前講座)も実施中。ぜひご活用を。 (6) 質疑応答(回答 略) ・障がいのある方を職場の仲間として迎えたことで、職場の雰囲気や空気感にどんな変化があったか。 ・就労支援で日々利用者のサポートをしているが、企業側はどんな人材や人柄の方を求めているのか。 ○2点の質問に、4名のパネリストからは各職場の実態を踏まえ、丁寧かつ有益で真摯な回答があった。 (7) 辰野アドバイザーよりお礼のあいさつ 2 について ・南信工科短期大学より、介護職員初任者研修科及び調理補助科の受講生募集のお知らせがあった。					
ま と め	・障がい者雇用を行っている4つの企業・機関から、実際の障がい者雇用の工夫や課題などをお聴きし、障がいのある方が安心して長く働き続けられる職場定着支援のあり方について、皆で考えることができた。					
次 回	・詳細については、後日お知らせする。					